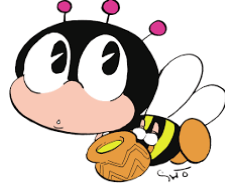


ゆきの灯り

第62号

令和4年3月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生協学習マスコット：マナビィ



移住促進空き家対策 現地視察実施

2月23日(水)、「移住促進・空き家対策」チームによる「空き家バンク現地視察」が実施されました。今回は、「実際に目で見て、登録物件の状態(建物・周囲環境等)を確認し、来年度のチーム活動につなげる」ことを目的として、町内登録物件中5物件を視察しました。

「自然環境豊かな町に移住したい。」「農業がしたい。」「古民家に暮らしたい。」「起業して地域の役に立ちたい。」… 神石高原町への移住・定住を考える方々のニーズに、地域として応えるためにも情報収集・共有が重要と考えます。

今回の現地視察が、今後のチームとしての活動や、「地域づくり」の参考となることを期待しています。

今年度「移住促進・空き家対策」チームでは、広報紙「ゆきの灯り」を通じて短期集中連載企画として「空き家や土地」に係る意識喚起や情報提供等を行ってきました。(これらの記事は、「油木協働支援センター」における空き家・土地活用に関する取り組みの紹介)として、広島神石高原町友会を通じて会員の方々へ紹介していただきました。

「空き家や土地」に関する新しい情報があれば、提供をよろしく願っています。

- 空き家バンクへの登録推進について(2月現在)
- 現在までに、油木地区では70件余り成約。
- 現在、町内の空き家バンク登録は14件。
- 物件への問い合わせは600件余り。
- 登録物件では、すぐに契約できそうなものもあるが、難しい物件が多い。
- 空き家が生じた際には、早めに登録してほしい。



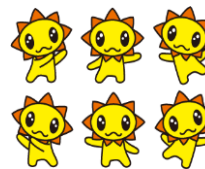
- 感想—
- 年月が経過して痛みの目立つ家屋もあり、「空き家バンク登録」は早いほど良いのではないのでしょうか。
 - 登録する側も「登録後放置する」ことなく、可能な限りのケア(家屋内の空気の入替や家財道具の整理等)が必要だと思います。
 - ご先祖様の扱いも考えることが必要だと思います。



伸びよう

伸ばそう

青少年



広島県青少年のマスコット
ゆっぴー

冬型の気圧配置が高まった2月17日(木)、「青少年育成神石高原町民会議油木委員会」による「あいさつ運動」が行われました。

当日は前夜からの積雪により、道路も凍結状態で大変寒い朝でしたが、街角に立たれた方々は、登校してくる児童・生徒に積極的に声をかけられていました。

また、市場筋に住まれている方の中には、自宅前だけでなく、バスから降りてくる油木高生徒のために道路沿いの雪をはねて、動線確保して下さる方もおられました。(中国バス営業所付近)

「青少年育成神石高原町民会議」は、「次の時代を担う青少年の健全な育成を図る」ことを目的として活動されています。

地域全体で地域の子どもたちを見守り、育てていかなければなりません。

「学校・家庭・地域」の連携が大切です。



油木小学校前での声かけ

- 学校
子どもが大人になる過程で人間として必要な知識・技術及び価値や態度の基礎・基本を組織的・計画的に教育する場。
- 家庭
乳幼児期の親子の絆の形成にはじまる家族とのふれあいを通じ、生きていくうえでの基礎的な質や能力を育成する場であり、すべての教育の出発点。
- 地域
子どもにとって、多様な体験を通して社会人として必要な知識や技術を身につける場であり、家庭や学校だけでは身につけることができないルールや社会慣習について学ぶ場。大人にとっても日常的な場であり、学習の場として重要な意味をもつ。

子どもたちの「ために」してあげるといふ考え方よりも、子どもと「ともに」大人も自ら育っていくとう考え方に立つことが必要です。

ありがとう!

雪ハネボランティア



東油木(宗兼)にお住いの松本彰夫さんは10年以上前から雪が積もると雪ハネボランティアをされています。

積雪予報が出た日は、朝4時から東油木・南油木・小野にかけて、町道や農道を約3時間かけて雪ハネを行われてきました。(現在、小野地区は若い世代の方が作業をされているそうです。)

雪ハネ用器具は重いと一人での付替えができないため、強度的にあまり頑丈にできず、かといって軽すぎると雪を脇に寄せることが難しく、また、アスファルト上を牽引するため3年程度しか持たないそうです。初代は自前で製作されたそうですが、2代目からは自治振興会で支援していただいているそうです。現在は4代目が活躍中です。

雪ハネボランティアを始められた頃には、雪と道路の境がわからず、車が路肩から落ちて助けてもらったこともあるそうです。(冬の朝、まだ暗い時間帯からの危険な作業を続けられることに頭が下がります。)

写真には荷台に愛犬ダボが乗っています。雪ハネボランティアに出る際には、ダボが監督として荷台から見守ってくれています。

これまでの活動に感謝するとともに、さらなるご活躍をお祈りします。



松本彰夫さん



愛犬(監督)ダボと出動!

油木協働支援センターでは「油木のちょっといい話」を募集しています。心温まる話題をお知らせください。話題が皆さんと共有できればいいですね。

油木亀鶴山八幡神社節分祭

2月6日(日)油木亀鶴山八幡神社において、令和4年「節分祭」が斎行されました。

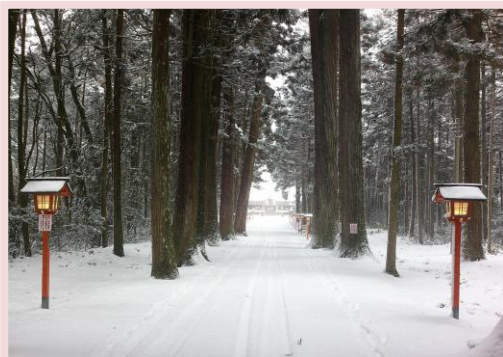
当日は暦の上では「立春」を過ぎたにもかかわらず、前日からの降雪で油木亀鶴山八幡神社は雪化粧となり、雪が舞う儼かな雰囲気の中での「邪気払い」の行事となりました。

あいにくの天候でしたが「無病息災」や「新型コロナウイルス」等を願って、神事の後盛大に「豆まき」が行われました。

真加部清麿宮司や鬼に扮した「油木神楽保存会」の有志による「豆まき大活劇」が繰り広げられ、拜殿は大いに盛り上がりました。

寒い中にも「春」の気配は感じられます。

油木亀鶴山八幡神社雪景色



「節分」について文献に現れる最も古い記録は、室町時代の応永32年正月8日(1425年1月27日)を記した「看聞日記」「花宮三代記」で、公家や武家の間で豆まきが習わしになっていたことがわかります。

今年も春がやってくる

仙養(恩土)にお住いの田邊清正さんから、春を告げる話題をいただきました。

『平成24年度より10年間、「農村環境保全活動・地域環境の保全」の一環として、仙養西恩土集落の農道沿いの畦畔に水仙・彼岸花を毎年少しずつ協定者と共に植栽をしてきました。』

毎年3月中旬から下旬にかけて地域の方々に春の訪れを伝えてくれます。また、9月下旬には秋の取り入れの忙しさの合間に心を和ませられます。

昨年11月21日には、恩木迫農道より分岐する農道200mに2000個余りの彼岸花の球根を植栽しました。』

神石高原町にも、野も山も春色にあふれる日が近づいてきています。

機会があれば是非、訪れて自然を感じてみてください。



令和2年度 植栽作業



令和2年度 水仙の開花



わんぱく 冒険少年展 2

油木協働支援センター

分室「にしかわ」にて好評開催中!

エンドマークが出るのが面白い!

いよいよ3月25日まで!



それは40億年前から始まった... ~化石は何を語るのか~

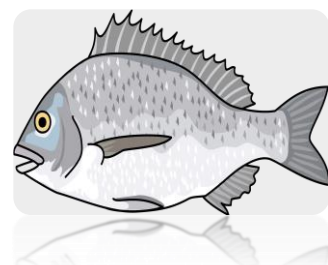
にしかわ化石館

開館：毎週月・水・金
(11:00~19:00)
※祝日・休日は閉館

不定期連載企画

頭の体操 2月号回答 正解 2:チヌ(クロダイ)

解説: アコウやギザミは大きくなったらオスになります。最後にオスになる種は縄張り内や産卵場で周りの仲間の中で一番大きなものがオスに性転換し、縄張り内のメスを独り占めにして自分の子孫を多く残す戦略を採っています。しかし、チヌは逆に体が大きくなったら卵を多く産めるため、確実に自分の子孫を多く残す戦略と考えられています。性転換する種はどちらの性も理解できるため、ヒト社会のようなジェンダー問題は起きないのではと思います。



ゆきの灯り 協賛広告募集中

- ・どなたでも掲載することができます。
- ・町内の方は1回1,500円 町外の方は1回3,000円です。
- ・大きさは縦5cm以下×横9cm以下です。

お問い合わせ・お申し込み
油木協働支援センター
☎ 82-0701
☎ 82-2228

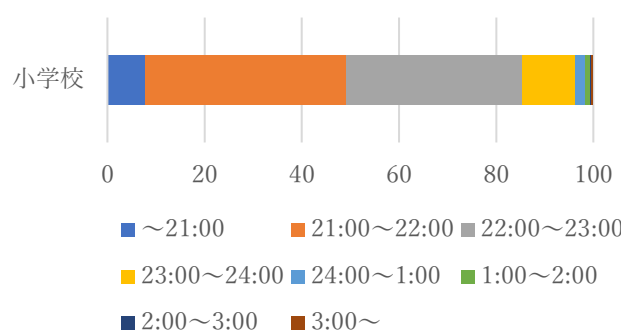
子どもの起床・就寝時間に注意する。「出典：文部科学省」

子どもたちの寝る時間が遅くなり、睡眠時間も短くなっています。深夜テレビや24時間営業の店などが世の中にあふれる中、家庭においても、大人の夜型の生活に子どもを巻き込んでいるのではないのでしょうか。

早寝早起きの習慣をつけて、十分な睡眠をとることは、子どもの健全な成長と生活リズムを確立するためには大切です。家庭で早寝早起きのルールをつくり、習慣をつけるようにしましょう。



次の日に学校がある日は、ふだん何時ごろ寝ますか



資料 家庭教育の総合的推進に関する調査研究
全国195校(小5)
平成26年 文部科学省

地域の子どもを見守り育てましょう (油木協働支援センター)

